

# 牧之原 だより

第 9 号  
61 . 1 . 1

発行  
牧之原畑地総合整備土地改良区

〒427  
島田市中溝町1726-4  
☎ <05473> 6-0984(代)



## 謹賀新年

綴じおき用紙です

### 牧之原台地より富士山を望む

新年あけましておめでとうございます。組合員のみなさまには、ますますお健やかに過ごされることを存じます。

私共の土地改良区も、昨年八月には総代(百三人)さんが、また、十月には役員(三十六人)が任期満了による選挙を実施し、それぞれご就任をいただいたところであります。

私も四たび理事長としてご推挙を賜り、あらためて身のひきしまる感ひとしおであり、畑総事業に取り組み覚悟をあらたにした次第でございます。

さて、ご承知のように、恒常的になった国の緊縮財政による限られた事業予算の中ではありますが、国営・県営事業ともに、まずは順調に推移しているものと考えられるのであります。

特に国営事業は、昨年の秋、川口取水口に着工のはこびとなり、数年をいदैずして牧之原台地に「水」があがるであろうと期待している

## 年頭のあいわつ



牧之原畑地総合整備土地改良区  
理事長 加藤 太郎

とあります。

また、県営事業も、国営事業の展開と併行して、末端支線管路の調査設計に着手されつつある段階であります。

まさに畑総事業における一つの大きな節目を迎え、事業がいよいよ佳境に入りつつある感を強くすると同時に、土地改良区としても正念場を迎えることとなるわけであり。

本事業がますます円滑に進展されるよう、関係機関のご理解あるご指導と、役員・総代を始めとする組合員各位のなご一層のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

年頭のごあいさつといたします。

昭和六十一年 元旦



# あけましておめでとう

## 節目を迎えた国営事業



関東農政局牧之原農業水利事業所

所長 百 濟 輝 久



あけましておめでとうございませう。昭和六十一年の新しい年を迎えるにあたり、皆様様に心からお祝詞と、常日頃からの国営事業に対する御指導に深くお礼を申し上げます。

昭和五十八年十月二十日の土地改良区の理事会におきまして、着任の挨拶を申し上げてから早二ヶ月が過ぎ、理事会出席も十一回を数えております。

私事にて申し訳ありませんが、近畿農政局の東播用水農業水利事業所、東海農政局の長良川用水農業水利事業所から当事業所に転勤になり、西方から東方に移動しておりますが、当地に勤務できますことは望外の喜びであります。

それは当地が、黒潮が流れる太平洋に面し、穏やかな海洋性気象に恵まれ、気候が温暖であることです。それと緑溢れる牧之原台地、清流の大井川（時々濁りますが）、駿河湾、遠州灘の紺碧の海、牧之原台地から見る富士の眺望……。北海道で生まれ、子供時代を樺太で過ごした寒いところでの経験

から、一生に一度は富士山の見える暖かいところに住んでみたいと心で思っていたことが叶えられたからです。

今年の総代会、理事会において、加藤理事長から「この事業は一つの節目を迎えた」とのお話がありました。本事業は発足七年、今年度で進捗率が三十二割になります。特に当事業におきましての主要工事であり、川口取水工に着工することができました。

水源は、建設省が施行します長島ダムにのつているとは言え、一級河川に構造物を築造するには、河川法の協議、ついても下流利水権者の同意が必要です。お陰様をもちまして、諸調整がととのいまして着工の運びになりました。

加藤理事長の言う、一つの節目を無事越えたことになりました。この「牧之原だより」が皆様方にとどく時点には、大きな雑音が伊久美川に響いていることと思いません。賽は投げられました。牧之原台地に農業用水を引くことは、明治百年、開拓の歴史でも

画期的なことと思えますし、これからの百年、二百年の計でもあります。

第三十九回全国茶業振興大会が昨年十一月、三重県四日市市で開催された。大会では「茶業安定のため、国並びに関係団体に対し強力な施策の樹立実行を要請する」と大会宣言を行っております。

最近の茶業の状況は厳しいものがあると聞いております。しかし静岡のお茶は不減だと考えております。

和田副理事長は、「牧之原台地には、人と土があるが水がない。人・土・水が一体となり農業と言える」とお話されています。

## 新年を迎えて



静岡県牧之原農業用水建設事務所

所長 松 尾 巖

新年明けましておめでとうございませう。

牧之原県営畑総事業も、昭和四十八年度着工以来、関係者皆様方の暖かい御支援と御協力をいただき、昭和六十年度もって全体で約二十五割、道路・排水路・農地造成の土地基盤整備については五十割の進捗をみることであります。

近年茶業界を取りまく情勢は、消費の停滞、ならびに価格の低迷と、大変厳しい状況下におかれて

担当する我々にとりましては、何よりの力であり励みでありませう。

国営事業と相俟って、県営畑総事業も併行的に事業が進んでおります。土地改良区・県・国が一体となり密なる打合せを行い、牧之原台地の総合農業開発を進めて行きたいと考えております。

一日も早く牧之原台地に農業用水が通水できることを願って、職員一同頑張つて行きたいと思っております。

何卒皆様方におかれましては、これからの事業につき、なお一層の御協力・御指導を賜りますようお願い申し上げます、新年のあいさつといたします。



いる中で、本県の茶業は、鹿児島県を始め他県の追い上げを受け、更に厳しい環境の中に立たされております。この様な中で、将来とも本県茶業の優位性を維持するためには、他産地との産地間競争に打ち勝つことが大事で、これには経営の近代化および労働生産性の向上、消費者のニーズに合った茶の生産をはかることが必要ではないかと考えております。

牧之原県営畑総事業も、牧之原の茶が将来に向けて明るい展望を

もって発展することを期待して、土地基盤整備と畑地用水事業を進めているところであります。本事業も、昭和四十八年度から五十年にかけて四地区に分割して採択している訳であります。この間オイルショックや国の経済の伸び悩み等で事業予算が思うように伸びず、受益者皆様方には大変御迷惑をかけているところであります。

しかし、市町や土地改良区の皆様方の御熱意と御協力により、昭和六十年年度予算には二十二億余となつております。この額は、県営畑総事業の県予算の約半分近い予算となつているところであります。

事業着工当初に、「水はいづるのか？」と、よくいわれたことがありましたが、国営事業も導水トンネルが完了し、本年度より川口取水工の工事に着手するはこびとなり、いよいよ牧之原台地に水が揚がる日も近くなったという感じがします。今後は、私共も国営事業の進捗に合せ末端事業に本格的に取組んでいく考えております。

しかし、畑地用水事業は今迄に進めてきた土地基盤整備事業以上に、受益者や関係機関の皆様方の御理解と御協力がなければ成功出来ないと考えておりますので、よろしく御支援の程お願い致します。牧之原の茶業の益々の発展と関係各位の御多幸をお祈りして、新年の御挨拶といたします。



国営事業

# 目でみる 牧之原畑地用水事業 60年度工事の状況

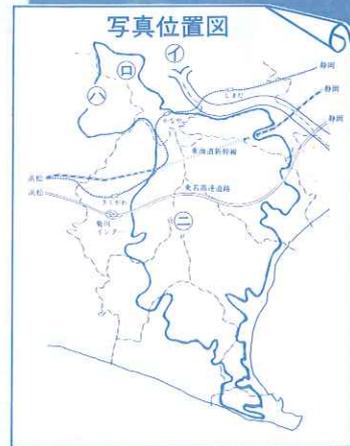
① ▲川口取水工建設工事 (鳥田市神座)

国営事業の基幹工事も、いよいよ本年度から着工の運びとなりました。

取水工は大きく本体工事と予備取水工に分けられ、5年計画で施工されることになっています。

送水路建設工事 (金谷町大代) ▶

この工事は、牧之原揚水機場から台地上にある吐出水槽とを結ぶ水路でトンネルの中に鋼管を埋設する工事で1月中旬完成します。



県営事業



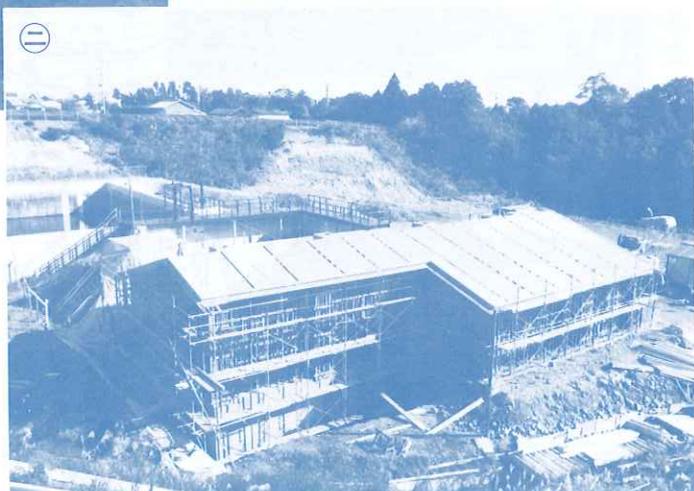
② ▲日東地区 木原沢畑地用水工事 (掛川市東山)

本年度でほぼ完成し、61年度から近くの沢水を利用しての実用運転が予定されています。

- (1) 工区面積 13ha (25戸)
- (2) 目的 かん水防除、凍霜害防止
- (3) 主要施設 ファームポンド、加圧ポンプ、薬液混入器、スプリンクラー

③ 牧之原西部地区 棚草原畑地用水ポンプ場上屋工事 (菊川町棚草) ▶

本年度かん水用ポンプ据付により、工区面積75haの給水栓水利用が容易となります。







# 県営畑地用水事業は

## ステージ工法で

### 県営畑総事業の概要と進捗

畑総事業は、二市七町（島田市、掛川市、金谷町、榛原町、相良町、御前崎町、菊川町、小笠町、浜岡町）の茶園を中心とした畑作地帯六千七百ヘクタールの土地条件と水条件の整備を総合的に行ない、高生産性農業の展開とひいては地域社会の発展に寄与する目的を持ってあります。

**進捗は基盤（農道）50パー  
畑地用水は僅か3パー**

基幹となるべき事業は、畑地用水と幹線農道でそれに併せて支線農道、排水路、農地造成を行なっております。着手以来十三年を経過しました。表1の事業概要の通りその進捗は全体で約二十五パー、工種別に見ますと農道・造成を中心とした事業が約五十パーと進んでいます。畑地用水は約三パーで、まだ緒についたばかりと言えます。これは水源であります長島ダム工事の遅れと国営事業との進捗調整をあわせ、施設の遊休化を極力避けるためです。

今まで土地条件の整備のための農道工事や農地造成工事を中心に進めてきました結果です。

この間に実施されました畑地用水事業は地区内で暫定水源（ため池、溪流水）が得られる箇所を対象とし、相良町地頭方の五ヶ所、菊川町下半済の一ヶ所、掛川市木原沢の十三ヶ所が完了、菊川町棚草原の七十五ヶ所について現在工事中です。

### 国営事業に並行して 末端施工計画樹立を

しかしながら国営事業は、遅れている長島ダム工事に対応するため、豊水期に大井川より暫定取水を行なうこととし昭和六十四年度には試運転を兼ね台地に水を上げの方針で臨んでおります。

このため県営事業もこれに併せて末端圃場での効果を早期に発現するため今後は積極的に畑地用水工事に取り組む必要があります。その計画は先に改良区が中心となつて検討してまいりましたローテーションブロック割（三十ヶ所）を基本としてその範囲内の水路計画やファームポンドの位置を概ね決めそのプランを受益者に相談しながら決定し、細部設計・実施の手順を進めていきます。

### 五ブロックに分けて 第一段階調査に着手

すでに県は、全受益地を五ブロックに分け六十年から第一ブロックの畑地用水計画の樹立に入っております。

工事は受益者の要望にしたがった範囲に止めるため、表2の様に三段階に分けて実施されます。なお第三段階まで順次完成しながら工事を進めていきますと限られた事業費では地区毎の着手時期にずれが生じ、均衡を欠くこととなります。

### 営農と水利用に沿い 末端の工事を進める

このため当面は、第一、第二段階までを中心として実施し、全地域で平等な効果を発生した後、順次第三段階に移っていく基本方針であります。

一方、スプリンクラーを利用したの営農形態につきましてもその効果が充分得られるため、県は先に実施した菊川町下半済地区の一ヶ所を利用いたしまして、かんがい、防除、凍霜害防止の各効果を明らかにするため調査を継続しており、さらにスプリンクラー等の機種検討を進めております。

最近では、国立・県立茶業試験場内にもスプリンクラーが設置さ

表-1 県営畑総実施状況表

工種	全 体		59年度まで		60年 度		累 計 進 度	61年度以降	
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費		事業量	事業費
畑地かんがい	5,145.4 ha	38,023,038 千円	19.1 ha	808,524 千円	(88.0) ha	214,965 千円	2.7 %	5,139.3 ha	36,999,549 千円
農道整備	490,974 m	26,081,540	132,399.8 m	12,506,009	13,591 m	2,088,714	56.0	363,723.2 m	11,486,817
排水路改修	351,954 m	6,018,334	17,124.5 m	1,181,565	520 m	22,628	20.0	335,893.5 m	4,814,141
農用地造成	175.6 ha	3,057,088	113.3 ha	2,230,114	(6.5)1.6 ha	49,693	74.6	60.7 ha	777,281
計		73,180,000		16,726,212		2,376,000	26.1		54,077,788

表-2 畑地用水工事の施工方法

段 階	工 事 の 範 囲	可 能 な 営 農 作 業
第1ステージ	ファームポンドまで(30ha程度に1ヶ所)	ファームポンドで給水する
第2ステージ	給水栓まで(0.8ha程度ごとに1ヶ所)	移動式スプリンクラー、ホースを使つての散水が可能
第3ステージ	スプリンクラー、凍霜害施設まで	所有者別に散水・防除・凍霜害防止が可能

れ、個人的にもその普及が進んでおります。

水が来ました台地では、しだいに営農形態も変わってくるのではないのでしょうか。県は水を利用して

の皆様方が考える営農に沿つて今後工事を進めてまいります。

静岡県  
牧の原農業用水建設事務所  
事業課長 村田 雄剛

# 昭和59年度事業報告書

## 1. 地区及び組合員の状況

### イ. 地区

昭和60年5月31日調製  
総面積 6,070ha

事業種別	年度別地積	前年度末地積	本年度末地積	増 △ 減	本年度賦課地積
県営畑地帯総合土地改良事業		6,070ha	6,070ha	—	5,145ha

### ロ. 組合員

市町居住別	前年度末員数	本年度末員数	増 △ 減	附 記
島田市	1,054人	1,054人		
金谷町	1,225	1,225		
榛原町	1,239	1,239		
相良町	2,273	2,273		
御前崎町	731	731		
掛川市	344	344		
菊川町	1,064	1,064		
小笠町	520	520		
浜岡町	858	858		
合計	9,308	9,308	—	

## 2. 経理の状況

### イ. 長期借入金 (農林漁業資金)

- (イ) 借入先 農林漁業金融公庫東京支店
- (ロ) 借入目的 県営事業地元負担金へ充当
- (ハ) 償還方法 10年据置、15年元利均等償還

昭和60年5月31日調製

年 度	借入年月日	借入金額	償還済額	借入金残額	利率	据置期限	償還期限	摘 要
過年度 (48~58)	昭和49.2.13 ~昭和59.3.29	円 3,326,840,000	円 19,952,486	円 3,306,887,514	% 6.2 6.5	昭和58.11.15 昭和68.11.15	昭和73.11.15 昭和83.11.15	●牧之原南部 1,072,930,945円(18口) ●牧之原西部 1,463,732,410円(16口) ●牧之原東部 430,514,365円(13口) ●日 東 339,709,794円(15口)
現年度 (59年度)	59.12.17 59.12.17 59.12.17 59.12.17 60.3.18 小 計	165,860,000 248,510,000 91,950,000 52,640,000 610,000 3,559,570,000	— — — — — —	165,860,000 248,510,000 91,950,000 52,640,000 610,000 559,570,000	6.5 " " " " —	昭和69.11.15 " " " " —	昭和84.11.15 " " " " —	●牧之原南部 ●牧之原西部 ●牧之原東部 ●日 東
計		3,886,410,000	19,952,486	3,866,457,514				

### ロ. 長期借入金 (事務所建設資金)

- (イ) 借入先 島田市農業協同組合
- (ロ) 借入目的 事務所建設費
- (ハ) 償還方法 20年元利均等償還

昭和60年5月31日調製

年 度	借入年月日	借入金額	償還済額	借入金残額	利率	据置期間	償還期限	摘 要
56年度	昭和57.2.27	円 67,000,000	円 4,948,452	円 62,051,548	% 7.60	—	昭和77.3.30	

### ハ. 短期借入金

昭和60年5月31日調製

借入先	借入年月日	目 的	借入金	利率	償還方法
島田市農業協同 組合島田支所	60.3.30	牧之原南部地区59年度県営事業分担金(公庫融資残)に充当	1,090,000円	7.4%	償還財源は60年度特別 賦課金とし償還期日を 60年11月15日までとす る。
		牧之原西部地区	1,915,000		
		牧之原東部地区	800,000		
		日東地区	1,691,000		
計			5,496,000		

第十六回(臨時)牧之原畑地総合整備土地改良区総代会(60・10・14)報告(七)十画

### 3. 賦課金の納入及び滞納状況

昭和60年 5月31日調製

年 度	区 分	調 定 額	収 入 済 額	滞 納 額	収 入 率	摘 要
過 年 度	經常賦課金	287,424,884円	285,433,034円	1,991,850円	99.3%	
	特別賦課金	729,559,975	728,705,075	854,900	99.9	
現 年 度	經常賦課金	36,805,840	36,108,200	697,640	98.1	
	特別賦課金	220,313,767	219,580,417	733,350	99.7	
計	經常賦課金	324,230,724	321,541,234	2,689,490	99.2	
	特別賦課金	949,873,742	948,285,492	1,588,250	99.8	

## 昭和59年度財産目録 (昭和60年 5月31日調製)

#### (資 産)

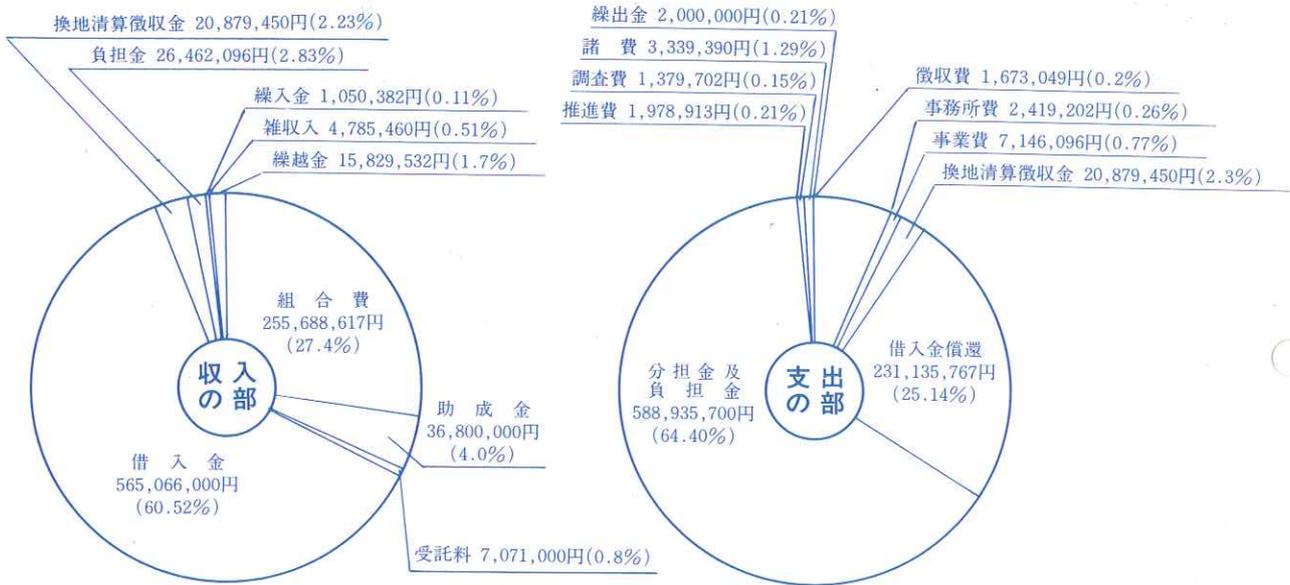
○流動資産					11,672,737円
現金及び預金					7,394,997
現金					145,879
預金		普通預金			7,249,118
未収入金					4,277,740
		過年度分	(48~58年度分)		2,846,750
		現年度分	(59年度分)		1,430,990
○特定資産					66,037,947
農地転用決済金		静岡銀行島田支店	普通預金		24,680
		島田市農業協同組合	{ 普通預金 545,958 定期預金 50,482,907 }		51,028,865
職員退職給与引当金見返預金		静岡銀行島田支店	普通預金		748,036
		島田市農業協同組合	定期預金		12,236,366
經常費調整積立預金		島田市農業協同組合	定期預金		2,000,000
○固定資産					117,298,279
土地	地	事務所敷地	1,322.38㎡		150,000,000
建物	物	事務所	420.29㎡		52,727,000
		車庫	61.04㎡		2,151,000
		物置	1 棟		224,000
機械器具	具	冷暖房空調器具	1 式		3,767,000
備品	品	自動車外	229 点		8,429,279
			合 計		195,008,963

#### (負 債)

長期負債					3,928,509,062
借入金	金	農林漁業金融公庫			3,866,457,514
		島田市農業協同組合			62,051,548
短期負債					5,496,000
借入金	金	島田市農業協同組合			5,496,000
積立金					14,984,402
職員退職給与積立金					12,984,402
經常費調整積立金					2,000,000
			合 計		3,948,989,464

### 昭和59年度一般会計収入支出決算

収入決算額 933,632,537円  
 支出決算額 919,299,776円  
 差引残額 14,332,761円………次年度へ繰越



### 昭和59年度借入金償還積立特別会計収入支出決算

収入決算額 51,233,255円  
 支出決算額 1,050,382円  
 差引残額 50,182,873円………翌年度へ繰越

#### 〈収入の部〉

款	決算額	予算との比較
1. 決 済 金	18,723,667円	1,473,667円
2. 雑 収 入	1,708,401	△ 1,599
3. 繰 越 金	30,801,187	187
収 入 合 計	51,233,255	1,472,255

#### 〈支出の部〉

款	決算額	予算との比較
1. 償 還 金	1,050,382円	48,710,618円
支 出 合 計	1,050,382	48,710,618

### 昭和59年度職員退職給与積立特別会計収入支出決算

収入決算額 12,984,402円  
 支出決算額 0円  
 差引残額 12,984,402円………翌年度へ繰越

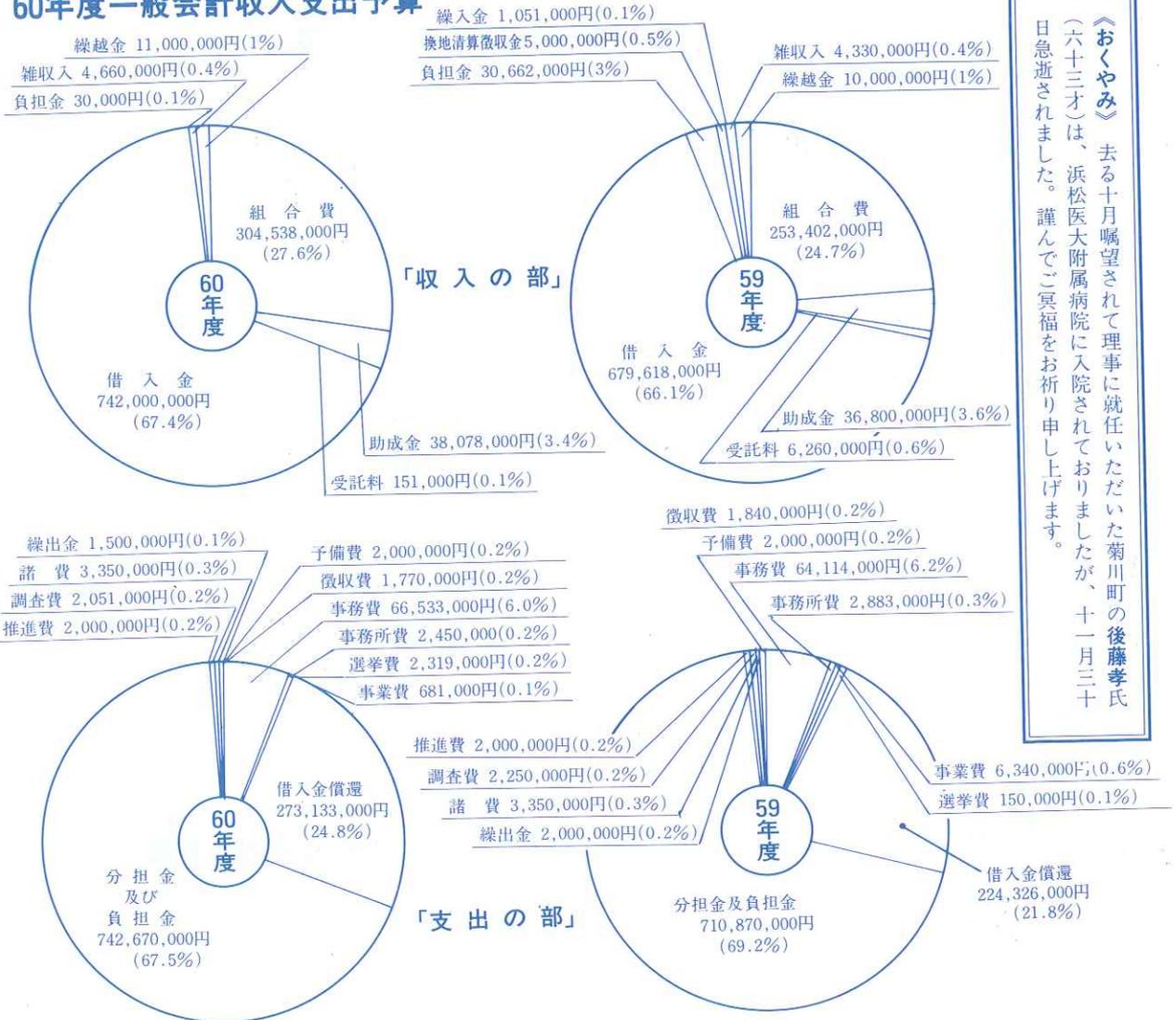
#### 〈収入の部〉

款	決算額	予算との比較
1. 繰 入 金	3,000,000円	0円
2. 雑 収 入	629,272	11,272
3. 繰 越 金	9,355,130	130
収 入 合 計	12,984,402	11,402

#### 〈支出の部〉

款	決算額	予算との比較
1. 退 職 給 与 金	0円	12,973,000円
支 出 合 計	0	12,973,000

### 60年度一般会計収入支出予算



《おくやみ》 去る十月囀望されて理事に就任いただいた菊川町の後藤孝氏（六十三才）は、浜松医大附属病院に入院されておりましたが、十一月三十日急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 昭和60年度借入金償還積立特別会計収入支出予算

＜収入の部＞

款	本年度予算額	前年度との比較
1. 決 済 金	3,000,000円	1,000,000円
2. 雑 収 入	2,700,000	1,015,000
3. 繰 越 金	48,765,000	17,964,000
収 入 合 計	54,465,000	19,979,000

＜支出の部＞

款	本年度予算額	前年度との比較
1. 償 還 金	54,170,000円	19,684,000円
2. 還 付 金	295,000	295,000
支 出 合 計	54,465,000	19,979,000

### 昭和60年度職員退職給与積立特別会計収入支出予算

＜収入の部＞

款	本年度予算額	前年度との比較
1. 繰 入 金	3,000,000円	円
2. 雑 収 入	630,000	12,000
3. 繰 越 金	13,000,000	3,645,000
収 入 合 計	16,630,000	3,657,000

＜支出の部＞

款	本年度予算額	前年度との比較
1. 退 職 給 与 金	16,630,000円	3,657,000円
支 出 合 計	16,630,000	3,657,000